NaITE#20 開催レポート

2017 年 4 月 26 日

報告者：岡野･すずき（NaITE）

1 開催概要

2017 年 4 月 8 日　NaITE#20 を以下のように開催しました。

開催日時	2017/4/8（土） 13:30 ～16:40		
開催場所	サンピアン川崎(第２研修室) （JR　川崎駅　バス 7 分）		
メインテーマ	プロセスモデル CMMI にまつわるちょっと深イイ話		
キーワード･タグ	CMMI　プロセス改善 SEPG		
プログラム	13:30～13:40	オープニング「開会のご挨拶」	NaITE 運営スタッフ
	13:40～15:30	セッション「CMMI に振り回されないために知っておきたい事」	中村氏
	15:30～16:30	セッション「CMMI と EPG とワタシ」	岡野氏
	16:30～16:40	クロージング	NaITE 運営スタッフ

©NaITE All rights reserved.

2 勉強会の様子

今回は「プロセスモデル CMMI にまつわるちょっと深イイ話」というタイトルで勉強会を行いました。

今回は能力成熟度モデルの一つであり，システム開発を行う組織がプロセス改善を行うためのガイドラインとなる CMMI に対する苦手感を少しでも減らしていただきたい、ということを目的として開催されました。

中村氏より、「CMMI に振り回されないために知っておきたい事」のセッション、岡野氏より CMMI と SEPG とアタシ、というセッションを行いました。

CMMI と聞くと苦手意識を持ってしまう方も多い中、CMMI の本質にしっかり言及されており。苦手感がなくなってきた様子でした。

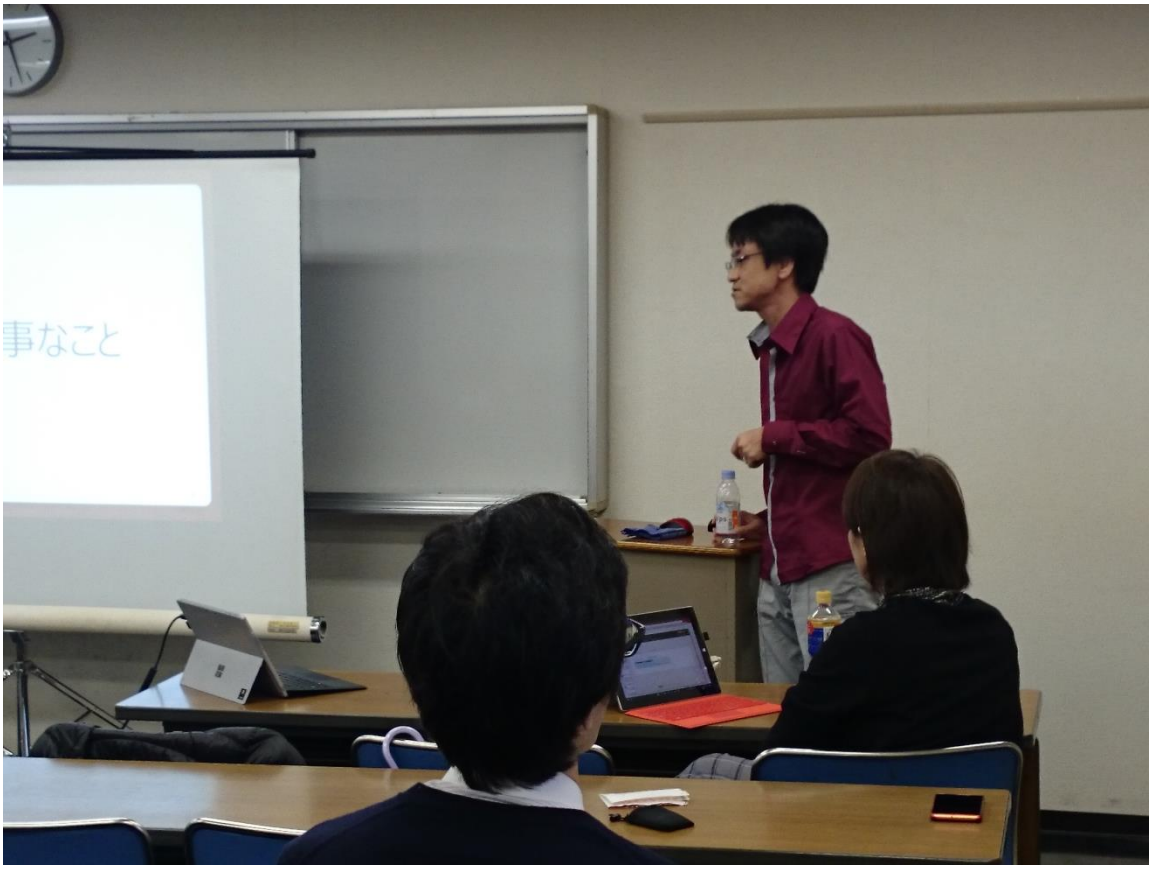


2.1 オープニング

オープニングでは NaITE スタッフから本イベントの注意事項、NaITE についての紹介、当日のプログラムについて説明をいたしました。その他現在活動中の SIG、活動を完了した SIG についての案内も実施いたしました。

©NaITE All rights reserved.

2.2　CMMI に振り回されないために知っておきたい事



中村氏より、「CMMI に振り回されないために知っておきたい事」と題して CMMI の簡単な概説と、自分自身に適用する際のワンポイントアドバイスについて解説いただきました。

CMMI の概説を簡単に説明いただいた後、「良い成果物は良いプロセスから生まれる」とし、成熟度レベルについて言及されました。

レベル１　初期　何もない

レベル２　管理された　文書化された計画に従って管理されている

レベル３　定義された　プロセスは特性が十分に明確化され理解され、標準化された状態

レベル４　定量的に管理された

レベル５　最適化された

©NaITE All rights reserved.

CMMI は組織がプロセスをカイゼンすることに役立つベストプラクティスを集めたものである、つまり、ベストな慣習を集めたものであり、各社の強みをあつめたものだ、と説明されました。



カイゼンと一言でいっても、強みを伸ばす、弱みを克服する、ではそれぞれアプローチが違うと説明されました。

CMMI を軸に自分たちを見るのではなく、自分たちのやり方を軸に CMMI のプラクティスを辞書のように参考にしていくほうが幸せである、とされていました。

「プロセス改善は仕事の慣習・文化を変えることである。文書などなくてもみんなが同じ文化で仕事できるようにするまでがカイゼンである。」

「プロセスは濃淡をつけて実装しないと、その組織にうまみのあるものにならない。ゴールを明確にして、濃淡を付ける。」と語られ、やらない部分をはっきりさせる。ここをがんばって、ここをがんばらない。そこを明確にすることが大事とされていました。

参加者の中には、勉強会後の懇親会などでも CMMI についてを議論し合い、苦手感もかなり払拭されましたというお話も上がり、大変有意義なセッションとなりました。

©NaITE All rights reserved.

2.3　CMMI と SEPG とアタシ

当日 2 つめのセッションは、岡野氏より講演いただきました。岡野氏は、約 7 年ほど、SEPG(Software Process Engineering Group)で活動されており、そうした中で、開発現場を支援するために行っていることや考えていることなどを説明されていました。

講演は大きく分けると、1. SEPG の役割とタスク、2. SEPG の特性(どういう性格が向いているか)という内容だったと思っています。

まず、「1. の役割とタスク」では、「経営陣と開発現場をつなぐ橋渡し」のような役目で、いかに関係者が納得するような改善内容と効果が出せるようにするか、といったことを話されていました。そのための手段として、事例やトピックスを開発現場に提供、講座の開設、自組織の強みや弱み情報の提供などを行っているということでした。

また、「2.　SEPG の特性」では、どのようなことができる(得意)なひとが SEPG に良いかというお話がありました。例えば、人と話すことが好きであること、人と打ち解けやすいこと、人と人をつなげられること、一度よいと信じたことに対して信念をもって取り組めること、などがありました。

こうしたことから、SEPG は、関係者から、如何に信用・信頼してもらい、改善等の理解を納得したうえで、快く施策を実行できるようにすることが必要で、そのためにいろいろなことを考えて実行できることが求められるのだと思いました。特に、「知恵と実績が必要で、それらを見える化して関係者に届けられること」という内容は、印象深く思いました。

なお、当日は、予定していた時間に余裕があったため、岡野氏が 2 月に東京で開催された JaSST Tokyo'17 で発表された内容の説明もおこないました。こちらについて、興味を持たれた方は、以下サイト(※)を参照いただければと思います。

(※)「品質予測モデルの構築およびプロジェクト管理への適用事例」 http://www.jasst.jp/symposium/jasst17tokyo/pdf/B3-1.pdf

講演後には、質疑応答も活発に行われ、参加者からの関心の高さがあられており、大変有意義な内容でした。

©NaITE All rights reserved.

3 参考情報･リンク等

当日の発表資料等は以下をご参照下さい。

・ OP 資料

http://www.slideshare.net/asakoyanuki/na-ite-19op

・ CMMI に振り回されないために知っておきたい事
https://www.slideshare.net/kauji0522/cmmi-74699950

・ CMMI と SEPG とアタシ
https://www.slideshare.net/asakoyanuki/naite20-cmmi

4 次回の予定等

次回は 5 月 20 日（土）「バグ票 SIG について（仮）」と題して、川崎駅周辺にて開催予定です。

以上

©NaITE All rights reserved.